

2002.9.4

発行：土とみどりを守る会

連絡先：3718-8558(柳島)

CONTENTS ◆春のつどいIIレポート ◆おくさわ今と昔 ◆まちなみウォッチング参加者の感想 ◆世田谷区の風景資産への応募について ◆グリーンサムのお庭拝見 ◆寺澤さん流・犬の糞を始末する方法 ◆会からのお知らせ

春のつどい



春のつどいIIレポート

まちなみウォッチング PART ④

6月8日(土)の奥沢1・3丁目まちなみウォッチングの日は、晴天に恵まれて24名の参加者がありました。建築家の近藤さんの先導で、暑い午後の日ざしの中を脱落者も無く楽しく歩きました。



まずは諏訪山通り商店街の中にある中山さん(3丁目44番)の落ち着いた洋館と庭の木々を見学。谷岸さん(3丁目37番)で、みごとな椎の木と古い玄関を残して改築されたご様子に心を惹かれました。次に訪れた鷺見さん(1丁目55番)のお宅は大正末期から昭和前期の本格的洋館で、歴史を刻みながらゆったりと周囲を包みこんでいる優しいたたずまいが感動的でした。岸さん(1丁目55番)のお宅では、道沿いの塀いっぱいにはり鉢を下げて道行く人を楽しませてくださる気持が、美しいお花と共に嬉しく感じられました。

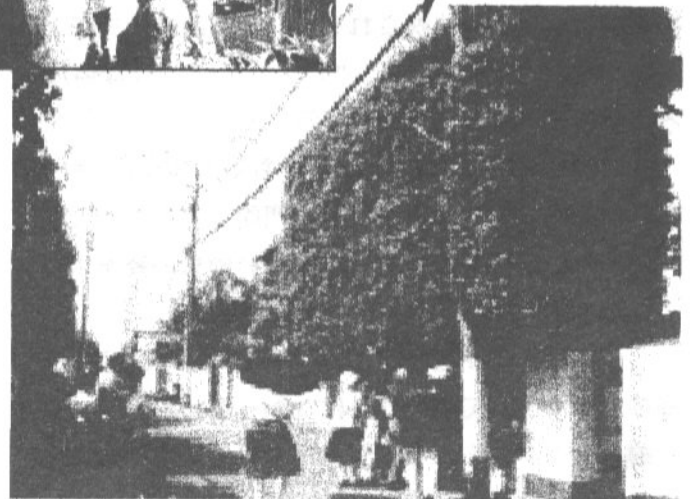
途中を見学しながら歩いて、1丁目5番の戸建風タウンハウスに着き、木陰を借りて冷たいお茶で休憩。この建物はコの字形で、中央に各自の玄関に入るための緑の広場が作られています。集合住宅を建てる場合でも、設計によってこのような良いものが出るというお手本になる建物でした。

再び出発して訪れた甲府方さん(1丁目21番)のお宅では、シラカシの防風林の美しさに感心しました。築300年というお住居には、かまどや井戸も残っていて、お庭には横穴住居の跡もあるとか、まさに奥沢の文化財です。



野村さんにお話を伺う

香気だった
甲府方さんのお宅



3丁目10番の川口さんのお庭ではナンバンハゼが大きく枝を拡げていて涼しげでした。風情のあるお庭の中まで見せて下さってお世話になりました。1丁目24番のマンションの小広場にある樺のシンボルツリーはいい印象で、ここで記念撮影。ボランティアが花作りをして通行人を



ミニ開発もこうなれば良いですね



楽しませている空地(1丁目23番)を見て、3丁目20番の角に立つ道祖神と道標で昔を偲びました。予定の22ヶ所を歩いて区民センターに戻るまで2時間余の散歩でした。歩きながら書いて下さったアンケートを集計して印象の深い場所を選び、話し合いました。

(柳島)

岸さんの壁面ガーデン

おくさわ今と昔

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など
毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。

鎮魂

奥沢2丁目 工藤靖子

私はドイツ村(現奥沢2-45あたり)に生まれ育った。昭和初期に拓けたドイツ村、海軍村の存在を識っている方も数少なくなってしまった。今は家の形もすっかり変わり、昔日の面影はない。ドイツ村を識らない方も、第二次世界大戦中、神宮球場で行われた学徒動員の雨中の進行のテレビ画像は何度か眼にされているのではないだろうか。

当時、テレビもビデオもない時代、ニュース映画にドイツ村の"アッチャン"が映っているということは、たちまち近所の評判になった。帝大(現東大)の学生であった"アッチャン"。私は"アッチャン"の顔をはっきりとは憶えていない。しかし最近でも時期になるとくり返し放映されるテレビ画面の中央に大写しされている青年こそ、"アッチャン"ではないだろうか。お母様そっくりの、細面の美しい青年である。

それからしばらくの間、"アッチャン"のお母様は毎日のように、ニュース映画専門館に通われたと聞く。何処へ出陣したのか分からない愛息の姿を求めて……渋谷へ、武蔵小山へ、蒲田へと。

しかし、戦争が終わっても、"アッチャン"はお母様のもとへ生きて還ることはなかった。

溝口アツシさん、ドイツ村出身。大正末期のお生まれ。八幡小学校卒業の方です。



みどりは心身の癒し

奥沢2丁目 寺澤宏枝

奥沢に住んで早15年近くになる。以前下町に縁があった頃は住宅が密集していて、互いの会話が聞こえる中で人情の温かさを感じてきた。奥沢は閑静で落ち着いた雰囲気があり又自然が豊かで、お互いに干渉しないで暮らしていけるのは縁がある恩恵ではないだろうか。今夏は特に酷暑が続き涼風と縁が恋しい。こんな時、飛び交う小鳥のさえずりや家々に咲く花、木立の奥から流れてくる心地良いピアノの音等が、心に涼風を送ってくれる。

勤めを終えて縁が丘で下車し、家に向かう道を自分で黄金の道と名付け、真っ赤な夕日に樺の大樹が影絵のように浮き出している景色から「風と共に去りぬ」の夕方の光景を連想し、大いに感動した。後に風雨を問わず早朝清掃をなさっている浮田さんを知り、感謝すると共に私達も協力して美しい環境作りに努めようと心がけている。

植物好きの主人が藤の木を植えたところ、四方に枝が拡がり花と香りで楽しませてくれた。その後、6丁目のバラの館の保坂さんに挿木の指導を受けて赤い小さいバラが満開。藤棚が繁る頃、鳩が巣を作りひなが誕生した。「平和が来た」と大喜びで成長を楽しみにしていた。ところが或る夜、親鳥の異常な叫びで見ると猫がよじ登ってひなを食べてしまった。その後、主人が栃木のゴルフ場で生後間もない雄犬を拾ってきて大吉と名付け、家族の一員になったが他の犬を恐れる臆病者である。ところで犬の糞の放置は大変困ったことで、飼主でない方が後始末をしている現状では、犬を飼う仲間として恥ずかしい限りである。せめて飼主のマナーを守ってほしい。自然を大切にすることは人への思いやりにつながる。奥沢の美しい縁と土を守って後世に伝えていき、自然が人々に優しさと心の癒しを与えてくれることと信じたい。

世田谷区の風景資産への応募について

ご報告とお願い

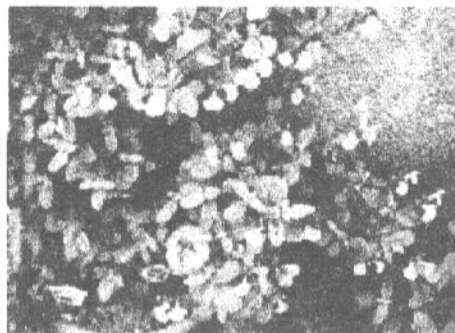
奥沢2丁目33番地から東に向かって延びる道沿いには、戦前の海軍村の時代から現代に至る、さまざまな建築様式をもつ家が建ちならび、どの家にも手入れのゆきとどいた美しい庭木があります。そして緑が丘駅に下りる坂の途中の22番地にはこの道のシンボルともいえるケヤキの大木があり、四季折々の風情で街に住まう人々や散策にみえる人々の心に潤いを与えています。



まずご報告ですが、「土とみどりを守る会」では、この道を「シンボルツリーのあるグリーンロード」(仮称)との愛称のもと、世田谷区の風景条例にもとづく「風景資産」の候補として申請させていただきました。

今回の「風景資産」は、以前の「世田谷百景」のように人気投票で決まるのではなく、良い風景としての価値があり、地域のコミュニティづくりにつながる可能性のあるところを対象として慎重に選考がすすめられています。

土とみどりを守る会では、奥沢に住まう人々の心をひとつにしようとの思いから、皆さまのご協力で、チェリーセージのプランターをこの道沿いに並べる活動などをすすめておりますが、おかげさまで、風景資産の選定の事前の調査にいらした方々から、おほめの言葉をいただいております。



の事前の調査にいらした方々から、おほめの言葉をいただいております。

そこで、皆さまにお願いがひとつございます。風景資産としての最終決定は11月下旬の予定ですが、9月になると区から風景資産の選定を委任された人々が現場の確認にいらっしゃいます。もし皆さまのお宅にヒアリングにお伺いするようなことがございましたら、ひとつよろしくご協力をいただければ幸甚です。

土とみどりを守る会としては、奥沢の素晴らしい住環境を私たちの子孫に継承していくためにはどのようにすればよいのか、皆さまのお知恵をお借りしながら、地道に取り組んでいきたいと考えています。今後とも皆さまのご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。
(長瀬・堀内)

今回のウォッチングに参加した方々の感想



- 樹木・草花・景観、他には無い古いもので充分に楽しめました。
- 落ち着いた静かなまちで良い雰囲気です。新しい発見がいくつもありました！！
- まだまだ緑があり楽しいまち、ステキなお宅がありました。
- 見馴れた町の新しい発見にとっても感動しました。
- 不動明王の祠など知らなかった所も多く、いつも何気なく通っている所でも説明を伺うと新たな発見でした。

- 意外に知らなかった1・3丁目。2丁目よりゆったりした街並みが感じられました。
- まだまだ捨てたものではないですね。緑が多く落ち着いた雰囲気が残っていて、歩いて良かったと思います。建物も設計や建て方次第でいかようにもなると改めて知りました。
- 奥沢小学校校卒ですが、1・3丁目を再発見しました
※甲府方さんのお宅は全員が「特に良い」の欄に○印を付けていました。

グリーンサムのお庭拝見 Vol.8

時折大型車が地響きを立てて通りすぎる大通りからほんの少し入った所とは思えない、静かな一角2丁目23の平本さんを訪ねました。フェンスには5年・7年もの水色濃淡のクレマチスが咲き始めたところです。

車庫に向かうアプローチの南側・東側に、心ならずも枝を刈り込んでしまっているヒマラヤ杉や栗・柿・さざんか・いちょう等が雑木林風に並んでいます。30年以上になるサルスベリを中心に見事な芝が広がり、三ヶ所丸く花壇ができています。5~6年になるカラミニサ、アリッサム、日日草の白い花々の中にブルーサルビアの濃淡といった風に色彩をたのしみながら季節の花を植える、黄花コスモス等は種を少しずつずらしながらまくことで長くたのしめる、宿根草は毎年春に芽を出してくれるのを待ったのしみがあがる、又体調が悪い時は、目が届かなくても、水と風と太陽と花そのものの生命力で頑張ってくれている様子を見て、こちらも元気になれる事等のお話を伺うと、人の心と自然の美しいハーモニーが伝わります。

風格を増してきた木々に木枯らしが吹き、沢山の葉を散らす頃になると、御近所の樋を詰まらせ樋の寿命を縮

めているのではないかと心が痛みます。いずれ保存樹木にと思っている木々にも、区で何らかの配慮があればもっと多くの木々が残せるのではないかとのお話には沢山のお宅が同感されることでしょう。土とみどりを守る会の課題でもあります。

植木屋さんを見た事がない程古い種類の栗と、美しい木肌を見せている白樺に虫が入ったらしく少々弱り出しているので虫退治を考えています。と御主人様は慈しみのこもったまなざしで見上げられました。体調がよくない、という奥様の事はさらに深い慈しみのまなざしで話されます。明るくモダンでおしゃれなお庭の印象に一つ又「いつくしみ」が加わりました。(立花)

寺澤さん流 犬の糞を始末する方法

A4大の広告を台紙にして、その上にトイレットペーパーを6枚位折りたたんで重ね、ホッチキスで上部を軽く止めておく。糞をする様子が見られたら素早く尻の下に敷いて、糞を包んで台紙から外しトイレに流す。道路も汚さずに済むし、自分自身もすっきりと気持ちがよい。

今回の「おくさわ今と昔」に原稿をお寄せ頂いた寺澤さんのアイデアです。皆様のいろいろな工夫をお教え下さい。



会からのお知らせ



●9月8日(日)午後1時30分から、奥沢東地区会館で夏のだいを催します。

第1部は元「ザ・ヴィレッジ・シンガーズ」のメンバー小松久さんとそのお仲間によるミニライブで、「亜麻色の髪の乙女」他の演奏があります。

第2部は、これまで3回に分けて行った「奥沢まちなみウォッチング」で参加者に特に好評だった街並みや樹木を、スライドで御覧頂きます。

そして会としての街並選奨・推奨樹木を発表します。

●「土とみどりを守る会」は平成14年度の世田谷まちづくりファンドの助成を申請し、審査員票が満票という好成績で22万円の助成金を受けることができました。ファンドの助成は最高4回迄となっているため、今年で最終です。今後の会の活動を維持していくために会員組織に移行できるように準備中です。

●世田谷区の「風景づくり講座」が区内3ヶ所で開かれ、その実習場所の一つに奥沢2丁目のグリーンロードが選ばれました。公募による30名余りの方々が土とみどりを守る会のメンバーの案内で奥沢2丁目界隈を見学し、それに続くワークショップでディスカッションがなされました。

●「土とみどりを守る会」では、毎月定例会を開いています。会の趣旨にご賛同下さる方、ご意見をお持ちの方、得意分野でお手伝いできる方、どうぞご参加下さい。

●各欄への投稿記事を募っています。ご面倒な方には、こちらからインタビューに伺います。カット・イラストもお寄せ下さい。また、記事に関するご感想・ご意見をお聞かせ下さい。

●「土とみどりを守る会」では、ガーデンシュレッダー(せんてい枝粉砕機)を貸し出しています。落としたりチップにしてお庭の土にまいたり肥料にできます。

編集後記 土・まち・みどりの編集作業は、前回の8号から専門家の斉藤ひろしさんが引き受けて下さっています。コンピュータへの打ち込みは、この9号から東工大大学院生の川口真輝さんが受け持って下さいました。すばらしいボランティアの御協力を得て勇気百倍、ますます内容も充実するよう努力いたします。

■土とみどりを守る会 連絡先 奥沢2-19-9 長瀬雅義 5729-0126
奥沢2-41-2 柳島尚子 3718-8558